

平成 27 年 5 月 14 日(木)

境川流域総合治水対策協議会事務局

愛知県建設部 河川課 計画グループ

佐藤・川瀬(内線 2729・2731)

ダイヤルイン 052-954-6555

愛知県建設部 下水道課 公共下水道グループ

榎本・玉置(内線 2688・2683)

ダイヤルイン 052-954-6535

境川・猿渡川流域水害対策計画の進捗状況等について

(第 31 回境川流域総合治水対策協議会の結果報告)

境川・猿渡川流域では、平成 26 年 3 月に特定都市河川浸水被害対策法に基づく流域水害対策計画を県と市町が共同で策定し、それぞれの管理者が連携し、河川整備や下水道整備等を着実に実施して、流域の治水安全度の向上に取り組んでいるところです。

このたび、総合治水対策協議会において、主な連携事業を取りまとめるとともに、平成 26 年度末における計画の進捗状況の確認及び平成 27 年度の総合治水 PR 活動について決定しましたので下記のとおりお知らせします。

記

1) 主な連携事業について

河川整備(県)と下水道整備等(市町)が連携して事業を行い、浸水被害軽減に取り組んでいるケースを取りまとめました。

2) 平成 26 年度 境川・猿渡川流域水害対策計画の進捗状況について

流域水害対策計画に位置付けられた様々な対策の実施状況や進捗状況など、協議会においてモニタリングした内容についてお知らせします。

3) 平成 27 年度の総合治水 PR 活動について

総合治水の取り組みには、流域住民の皆さまのご理解、ご協力が重要であるため、各種 PR 活動を行なっているところです。本年度は、流域内のショッピングセンター等における PR イベントを重点的に実施します。

【5 月 15 日～21 日は総合治水推進週間です】

境川流域総合治水対策協議会

【構成員】愛知県、名古屋市、刈谷市、豊田市、安城市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、東郷町、東浦町

1) 主な連携事業について

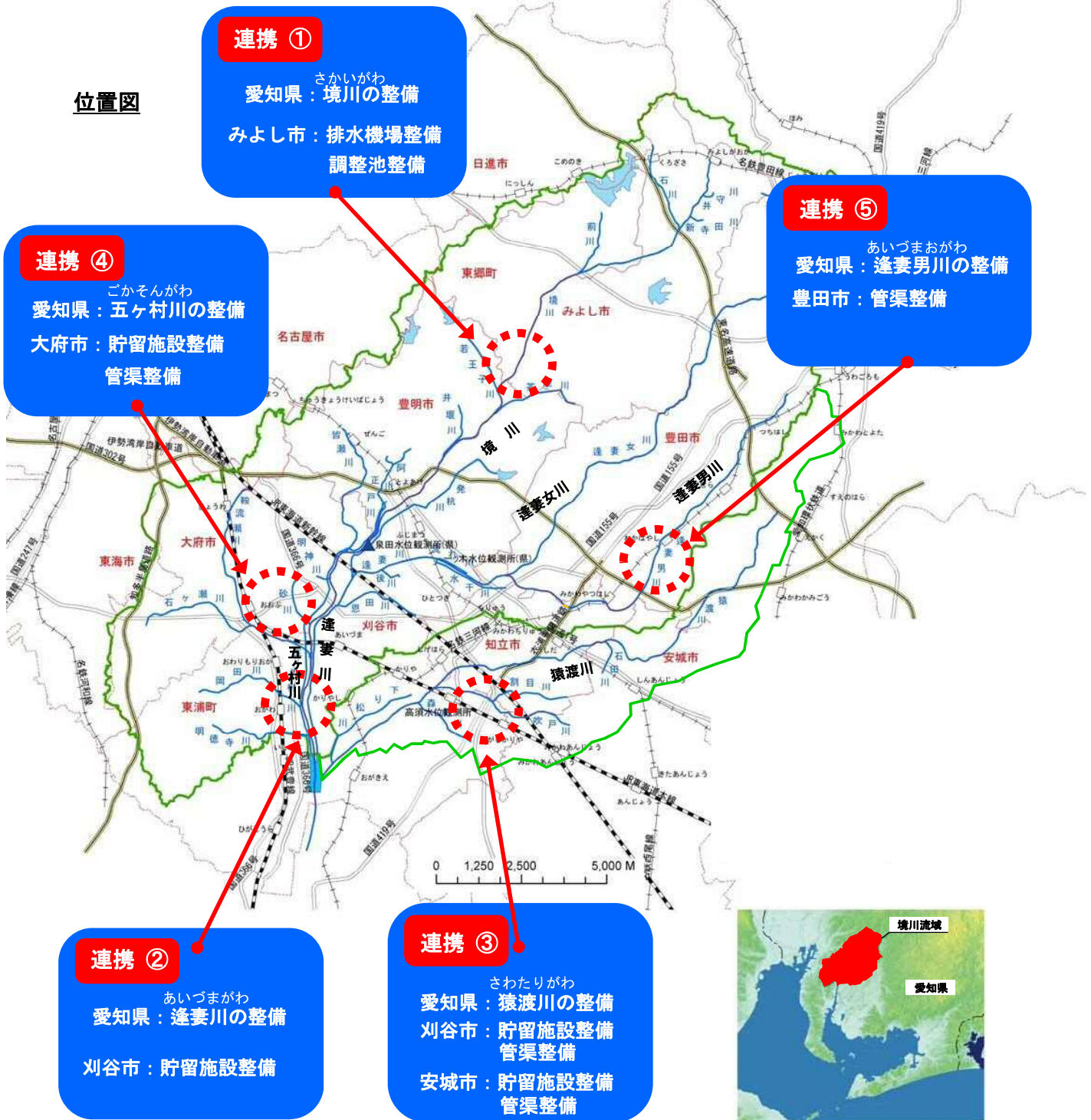
愛知県と流域市町は、連携して水害対策に取り組んでいます。

*各事業については、今後の進捗や被害の発生状況等により、適宜変更が生じます。



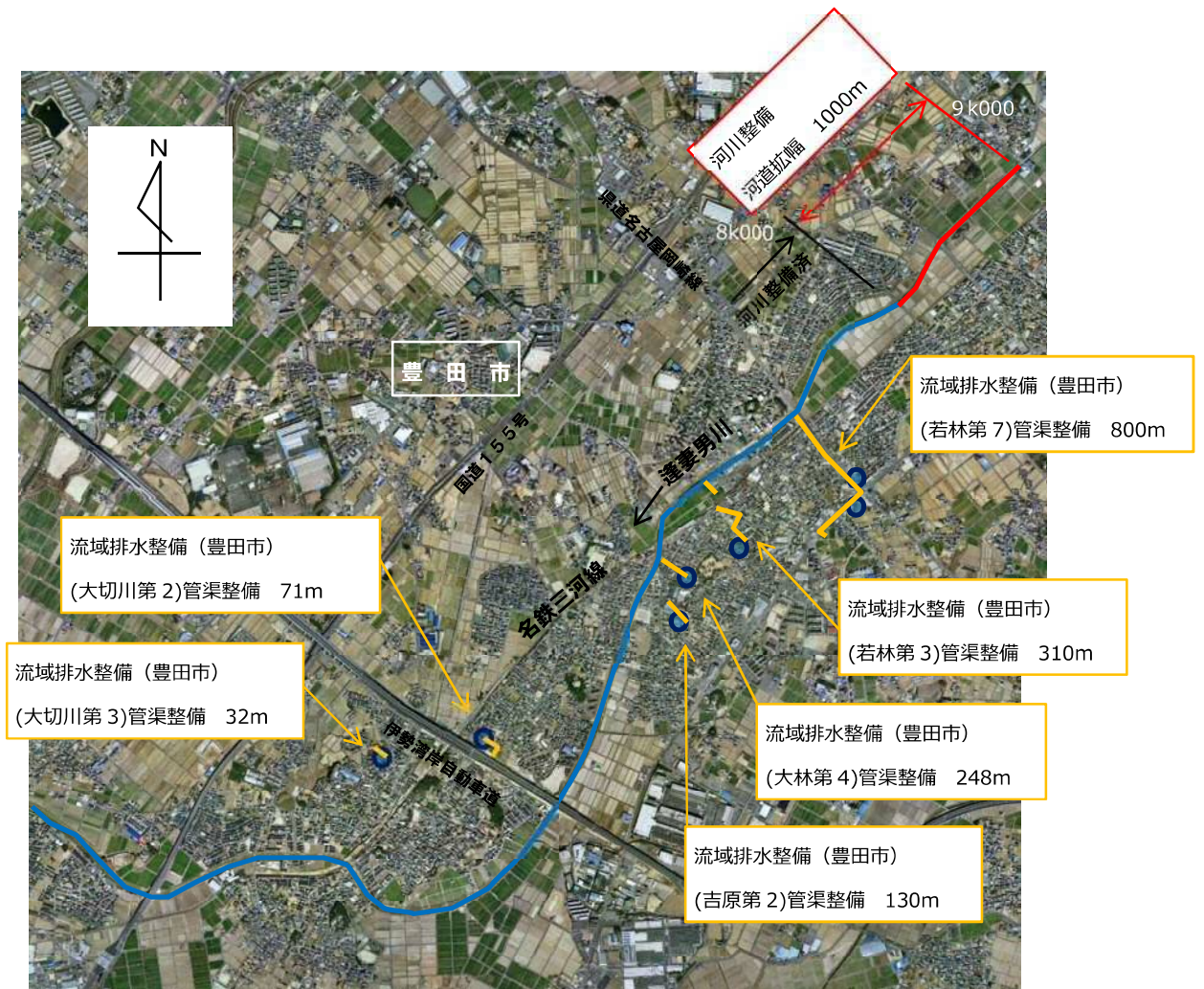
流域水害対策計画を策定

位置図






○連携事業の事例（逢妻男川、豊田市）

逢妻男川の河道整備により、流下能力が向上することを活かし、流域では管渠整備を行い、浸水被害の軽減を図ります。



逢妻男川の整備状況



凡 例	
	河川整備（県）
	排水整備（豊田市）
	浸水想定区域

2) 平成 26 年度 境川・猿渡川流域水害対策計画の進捗状況について

1. はじめに

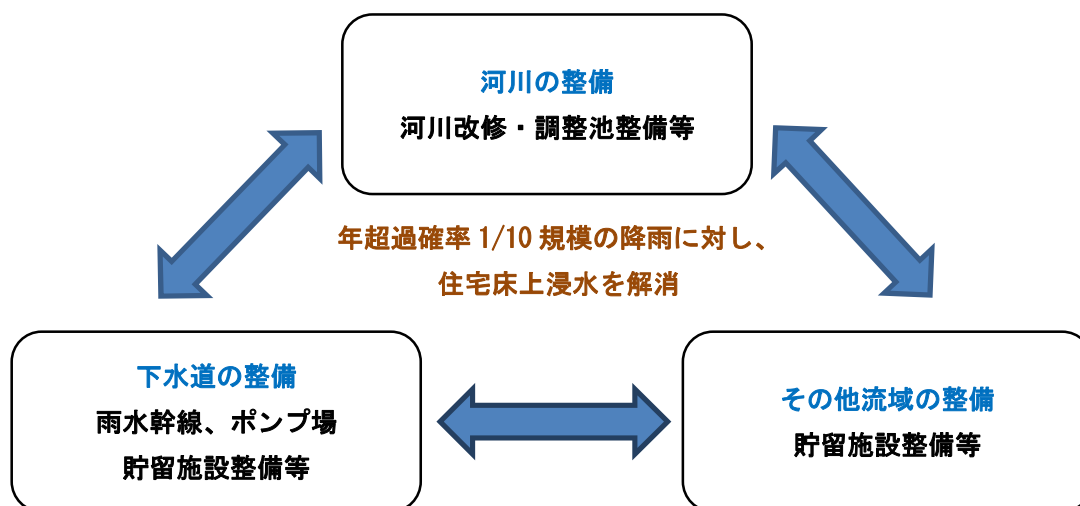
(1) 背景

○特定都市河川浸水被害対策法の適用

境川・猿渡川流域では、昭和 30 年代後半からの市街化の進展に伴う、流域の保水・遊水機能の低下や洪水流出量の増大により、水害の危険性が増大しました。これまで河川整備や総合的な治水対策に取り組んできたものの、平成 12 年 9 月の東海豪雨において甚大な浸水被害が生じました。そこで、総合的な治水対策をより確実に展開するため、特定都市河川浸水被害対策法を適用し、平成 26 年 3 月に河川管理者、下水道管理者、及び流域市町が共同で「境川・猿渡川流域水害対策計画」を策定し、今後さらに流域での連携を強化し、効率的な浸水被害対策に取り組んでいくこととしました。

○流域水害対策計画の目的

境川・猿渡川流域水害対策計画は、概ね 30 年間で年超過確率 1/10 の規模の降雨に対し、著しい浸水被害（住宅床上浸水被害）を解消することを目的としています。



(2) モニタリング

境川・猿渡川流域水害対策計画にもとづく事業等の進捗状況などについてフォローアップを行い、事業等を確実に実施するとともに、必要に応じて計画見直しの検討を行います。また、その内容を公表することとしています。

2. 平成 26 年度の出水状況等

(1) 平成 26 年度の出水状況まとめ

平成 26 年度は、流域内において浸水被害は発生しませんでした。

(2) 境川・猿渡川流域における代表的な降雨

発生年月日	60 分最大雨量／総雨量 (観測所名)	家屋被害状況 (水害統計調査による)
平成 26 年 9 月 24～25 日	17mm／69mm (泉田雨量観測所)	なし

*この降雨において、境川では洪水注意報を発表しました。

(3) 整備済み施設の稼働状況について

○排水機場（河川管理施設）の稼働状況

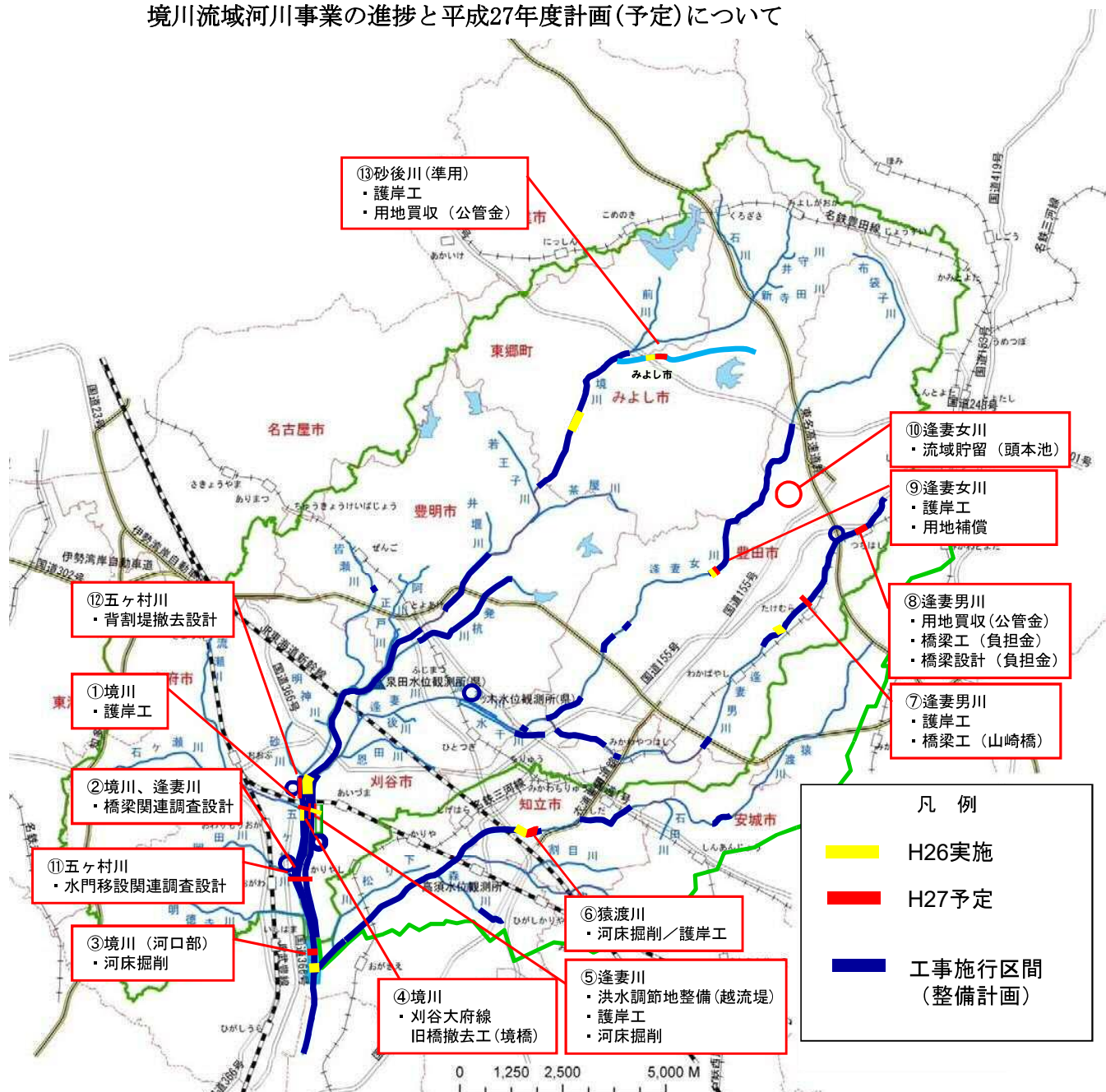
流域内の排水機場（河川管理施設）の稼働については、以下のとおりです。

排水機場名	市町	稼働回数	
		平成 25 年度	平成 26 年度
流れ川第 1	刈谷市	5 回	2 回
流れ川第 2	刈谷市	26 回	16 回
水干川	刈谷市	57 回	41 回
発杭川	刈谷市	なし	なし

3. 各整備の進捗状況

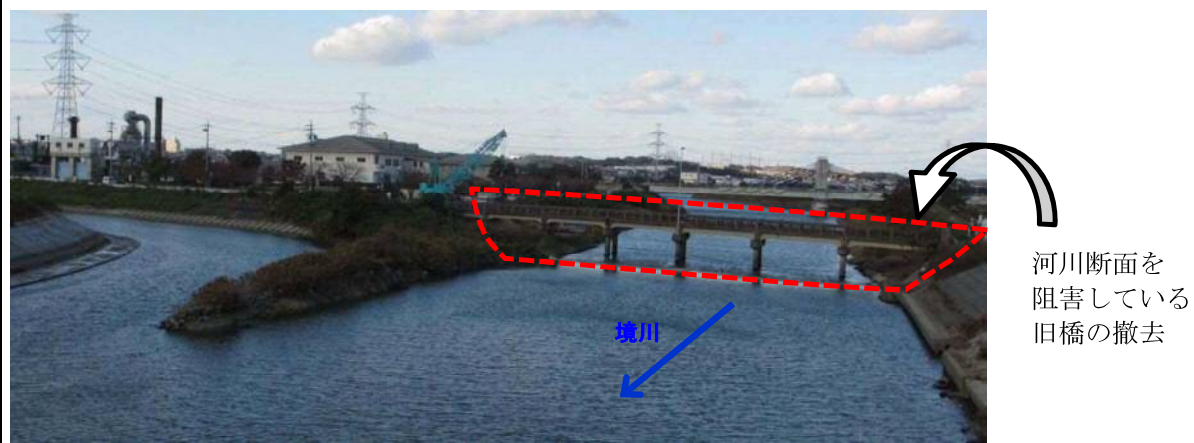
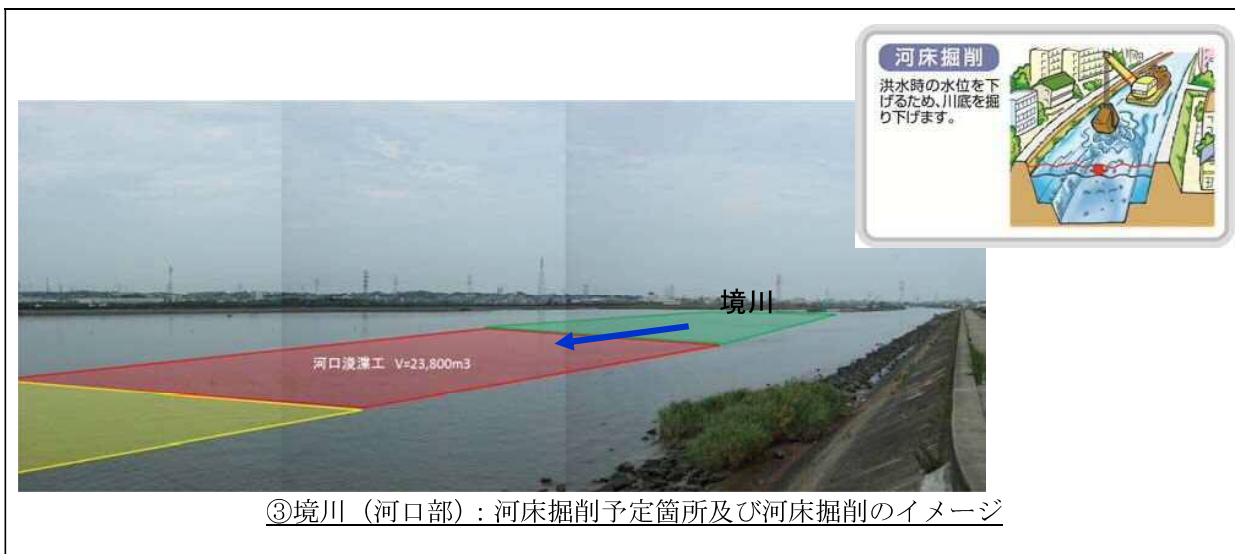
(1) 河川事業

境川流域河川事業の進捗と平成27年度計画(予定)について



主な個所の当面の整備内容	
①③④ 境川	河口部では川底を掘り下げ、下流部では川の流れの阻害となる県道刈谷大府線境橋の旧橋を撤去するとともに、護岸整備を行います。
② 境川、逢妻川	流下能力を向上させるため、支障となる主要地方道名古屋碧南線の橋梁架け替えに必要なボーリング調査など調査、設計を行います。
⑤ 逢妻川	洪水調節地の越流堤などを整備するとともに、旧橋部の河床を掘削します。
⑥ 猿渡川	川底を掘り下げ、流下能力を向上させます。
⑦⑧ 逢妻男川	中流部では護岸整備及び山崎橋の改築を行い、上流部では区画整理と連携し川の幅を広げ、流下能力を向上させます。
⑨⑩ 逢妻女川	流下能力を向上させるため、護岸整備を行います。また、既存池を活用した流域貯留施設を整備します。
⑪⑫ 五ヶ村川	水門移設関連調査等の設計を行い、河道整備の準備を進めます。
⑬ 砂後川	区画整理と連携し川の幅を広げ、流下能力を向上させます。

主な河川整備の状況（1）



3) 平成27年度の総合治水PR活動について

総合治水対策の意義・重要性に対する流域住民の理解と協力を得るため「総合治水推進週間（5月15日～21日）」が平成3年度に制定されました。境川流域総合治水対策協議会ではその趣旨を受け、総合治水推進週間前後に総合治水対策のPR活動をそれぞれ実施しています。

総合治水PRイベント

●ビジュアルボードフェア

流域内のショッピングモール等において、パネルの展示等により、総合治水の取り組みの紹介、県・市町が実施している治水事業の進捗や効果のPR、防災に関する情報提供などを行います。

開催場所

- ①東海市、大府市、東浦町内のショッピングセンター等（写真①）
- ②流域内市町、県庁及び関係建設事務所等（写真②）
5月8日から9月3日までの1週間ずつ、流域内の市町・建設事務所において、パネル等を持ち回りで展示します。（県庁地下通路は5/15～21に展示）
- ③県庁公開イベント等（写真③）

また、総合治水推進週間内には関係機関の各庁舎に懸垂幕等を掲出してPRしています。（県庁正面玄関には横看板を5/15～21まで掲示）



①イオンモール三好店での実施状況



②大府市役所での実施状況



③県庁公開イベントでの実施状況



④協議会ホームページ

ホームページによるPR

協議会にてホームページを作成し、県や各市町、民間で行われている総合治水対策を紹介するなど、住民等に向けて情報を発信しています。（写真④）

<http://www.sougo-chisui.jp/>

（注：写真は平成26年度の実施状況）